

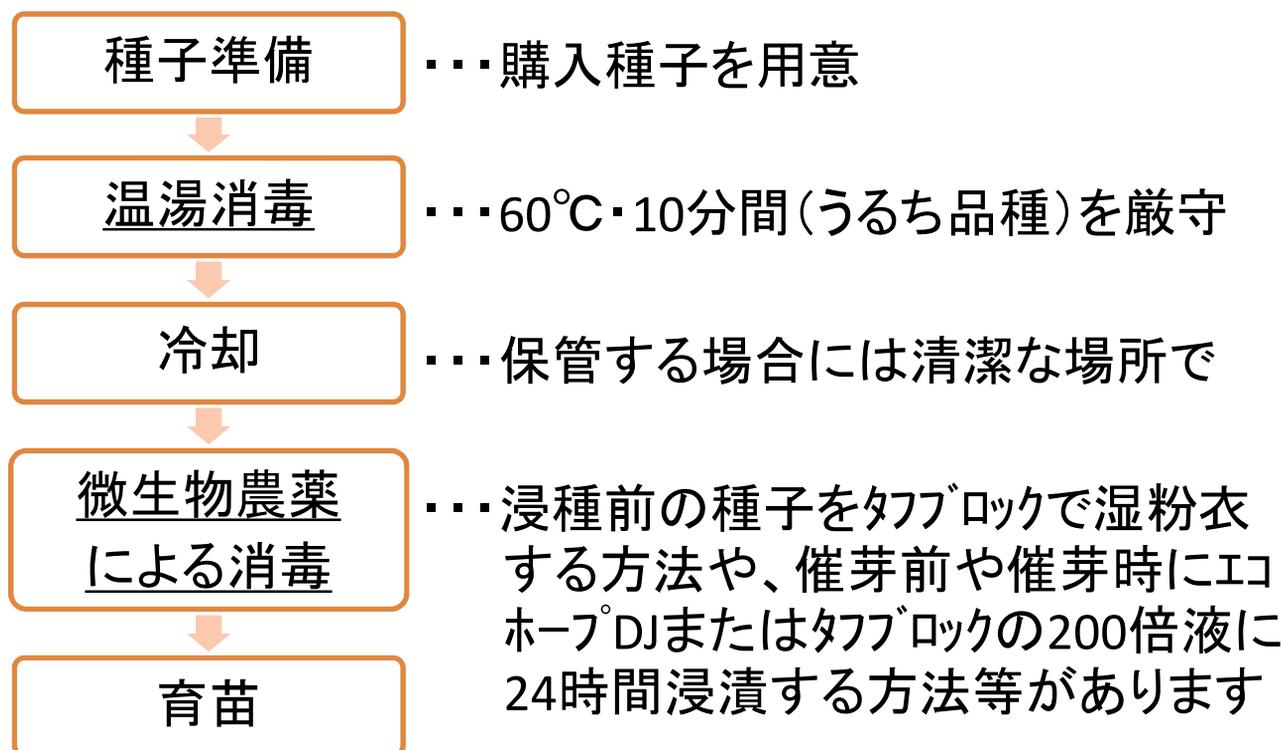
温湯消毒と微生物農薬の体系処理で 種子消毒効果を上げて イネばか苗病ゼロに御協力お願いします

本田で「ばか苗病」が発生すると、胞子が飛んで周りのほ場にも伝染します。そのため、採種ほ場では種子生産を中止する事例が出ています。

また、温湯消毒や微生物農薬はそれぞれ単独では、温度等の影響を受けやすく、種子消毒の効果が安定しません。

そこで、温湯消毒と微生物農薬(エコホープDJ, タフブロック)を組み合わせた体系処理で消毒効果を上げましょう。

<作業手順の例>



※稲わら、米ヌカ、もみ殻などは「ばか苗病」の伝染源になります。保管や作業場の清掃、資材の消毒などを行い周辺環境からの伝染も防ぎましょう